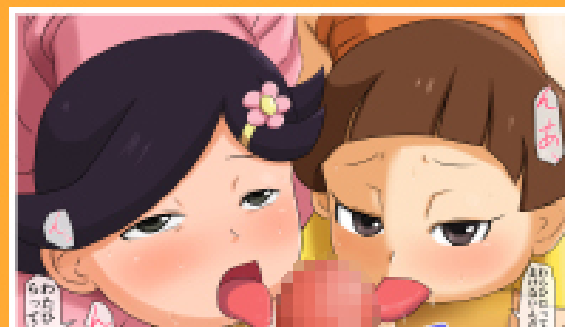




Youkai

け～すふあいる



ほら…頑張っ
て！
しおりちゃん！

で…でも

ん
ん

男子の視線に
慣れるためじゃん！

う…うん



ねえ…どう？

うう…は
恥ずかしい…

すぐに慣れるって
じゃあ次は
ショーツを脱いで
しおりちゃんのアソコ
見てもらわなくっちゃ

んき

んき

え…!?
あそ…アソコって
…うう 無理だよお

そうだよね
いきなりは無理だよね
じゃあ私が見本見せるから…



い...いいのかなあ

うわあ

うわっ...
まずいよ

ちゃんと見なさいよ
しおりちゃんのためなんだから
アンタも協力しなさい!

しおりちゃん
オナニーは
このお豆みたいなの
気持ちいいの

うわあ

どう？
中まで見える？

びびるピンク色して
湿ってて光ってる

グイ



う...うん

ん...んあ
ほら...次は
しておりちゃんの番

うわあ

で...でも

あ...ん...
これくらで
恥ずかしくて
オシヤレになれないよ!

クチ
クチ



何よそれー
変態っぽーい

んキ

んキ

うう…やっぱ
恥ずかしいよお…

かわいいアソコしてるよ！
ね！アンタも
そう思うでしょ？

そ…そうだね
しおりちゃんの小さくて
ビラビラも大人しくて
しおりちゃんらしいよ

ほら…しおりちゃん
オナニーよ

うう…ん
…ア…
こ…これ
いいの
かな

お豆の皮が
捲り上がって…
その調子

ん
ん

うん…
ん…
ん…
ん…
ん…
ん…





イッちゃったんだ
男子の前でオナニーして
イッちゃうなんて才能あるよ
次のステップ行こうか

はあ...はあ...
え?次?

んき

んき

フェ・ラ・チ・オ!

えッ!?



わあ…こんな
勃起させて…
期待してたんでしょ

ほらしおりちゃん
こうやって
舌を這わせて…ん…んっ

こ…これが男の子の…
うう…クラクラする

んっ
んっ

んっ

んっ

うう



しおりちゃん
上手う

次は口に含んでえ...

んっ
んっ

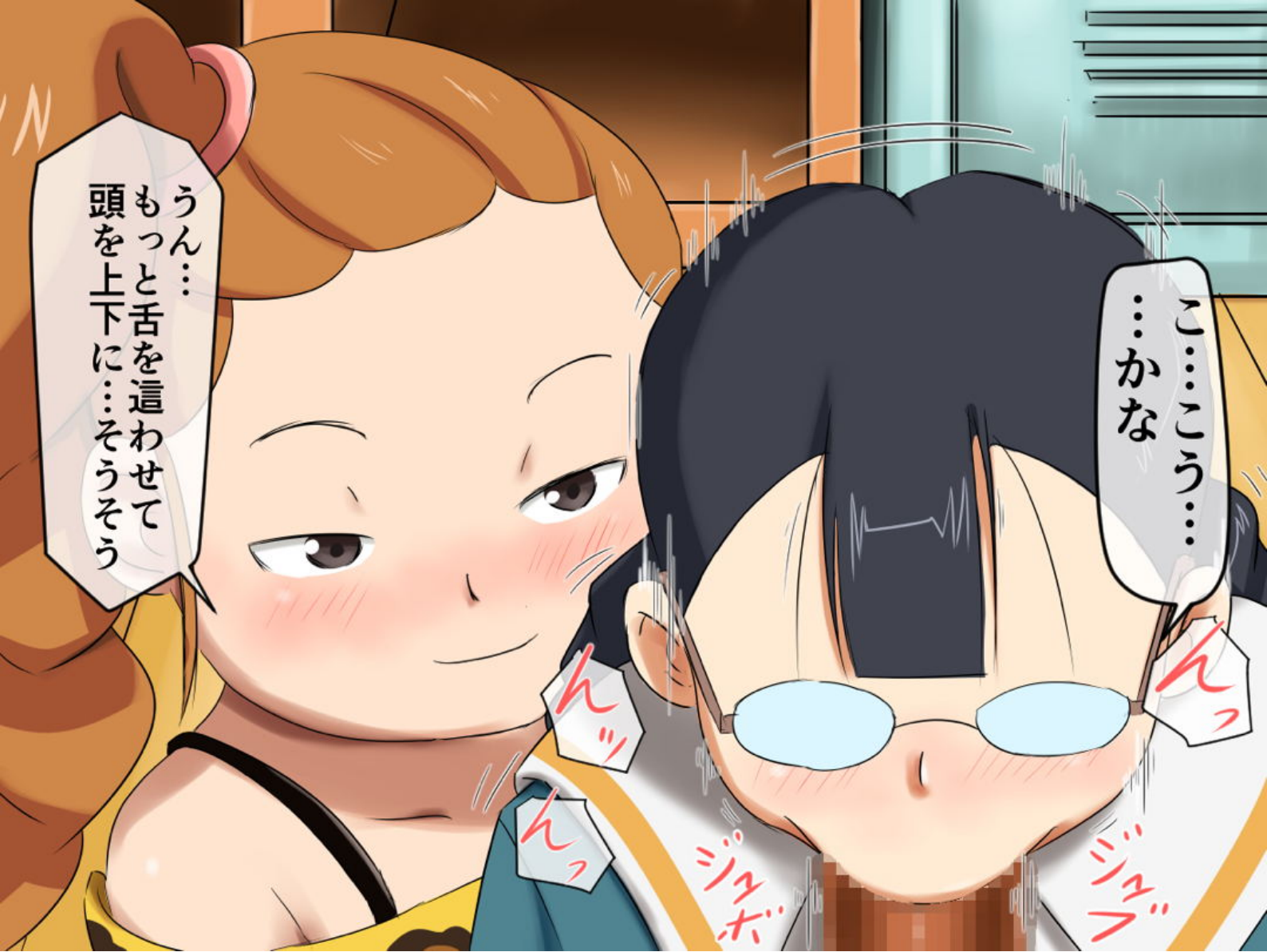
ちろ
ちろ
びっ

びっ
ペロ

う
う

うう...んっ...
んっ...しよっばい...

うわあ...
マイちゃんと
しおりちゃん
が俺のを舐めてる...



うん…
もつと舌を這わせて
頭を上下に…そうそう

こ…ここう…
…かな

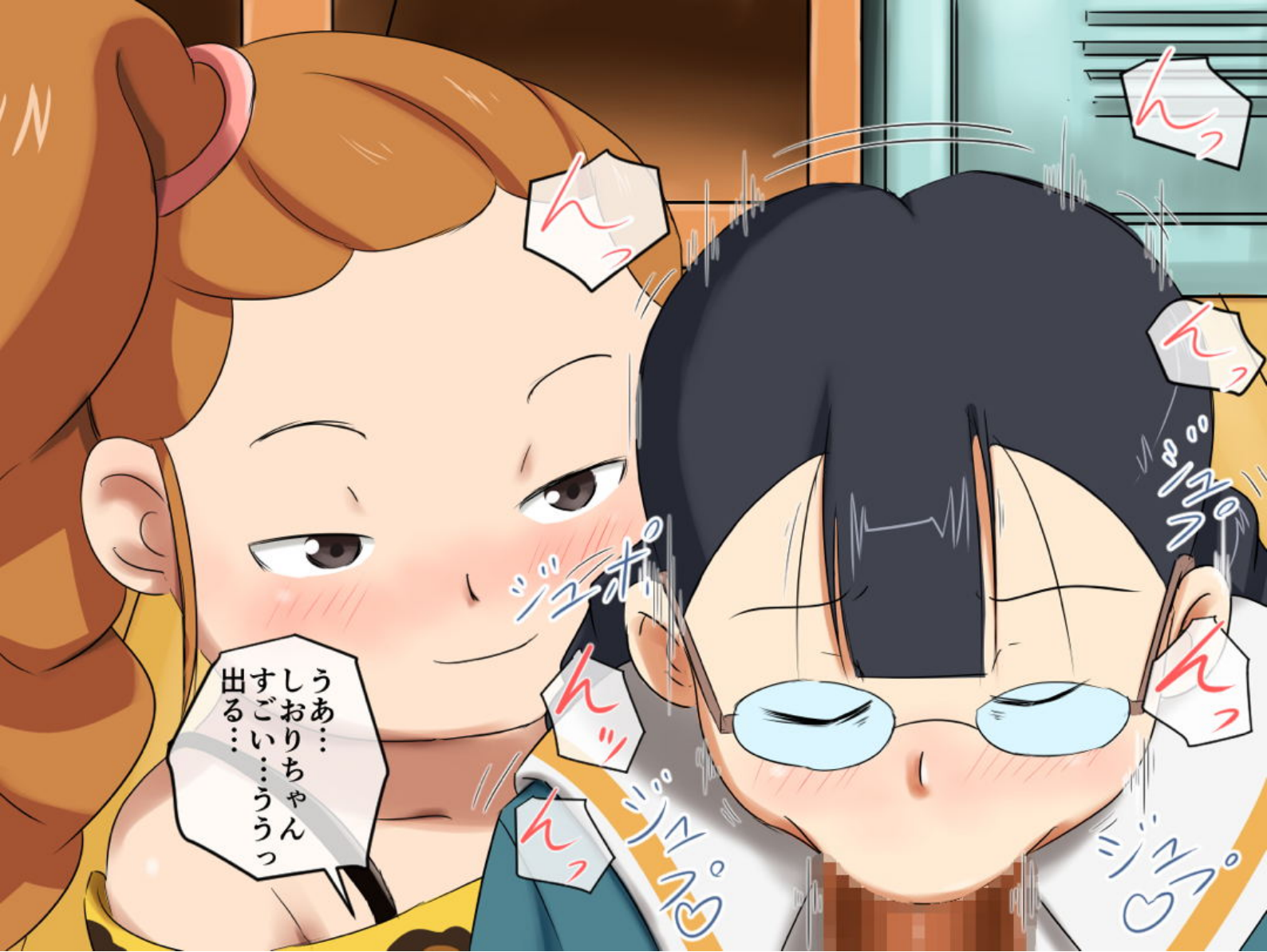
んっ

んっ

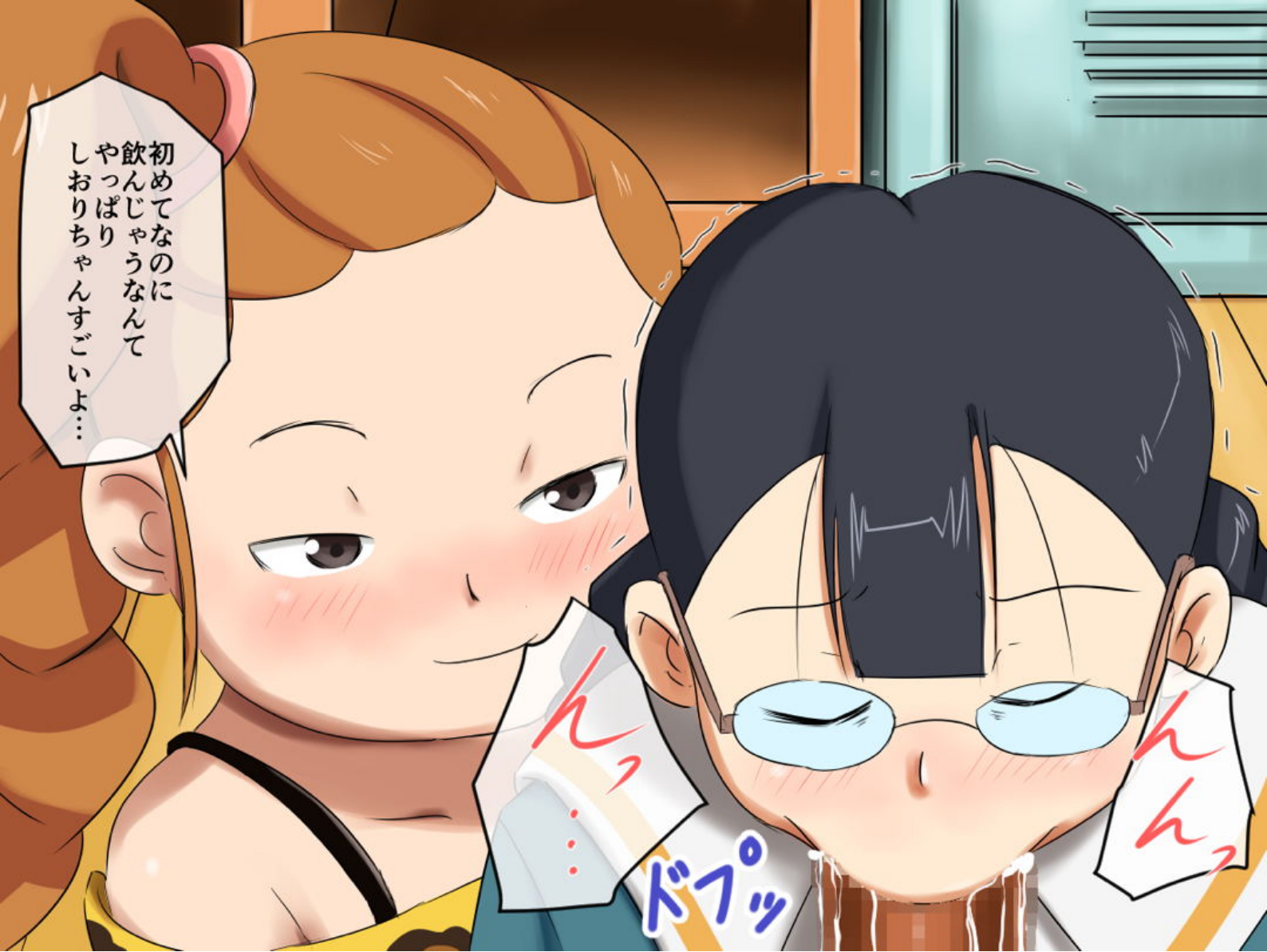
ジッポ

んっ

ジッポ



うあ...
すご...
出る...



初めてなのに
飲んじゃうなんて
やっぱり
しおりちゃんすごいよ...

ん

ドブツ

ん



とか言いつつ
アンタも準備万端じゃん!

さっき出したばかりなのに
セックスへの期待で
早くも回復してしまった

セックスをして
女の子はキレイ
になるのよ!

さすがにセックスは

ええっ!?
せ:セックス
そんな早いよお!

私も負けてられないね
次はセックスだよ

う…動いて
いいよ…

入っ…
入ってきてる…

うあ…マイちゃんの中
ぐちよぐちよで気持ちいい

ググッ





奥までツッ…
ひぐっ…届いてツ
ん…あッ

ん♡ッ
んッ
ぐッ

はあ…はあ…
気持ちはあ…
すぐに打ちやうよっ

ぐちゅ ぐちゅ





はあ

はあ

ピクッ

ピクッ

はあ
すごおい...たくさん...
溢れて...んっ

はあ

クッ



しおりちゃん
初めてなのに
バツクなんて大胆

うう……う……

ふる
ふる

前からだと
おちんちんが
入って来るとこ
見えて緊張
しちゃうから……



バッキバッキ

うん...うん...

いい...入れるよ
おりちゃんッ!

ムニッ



んッ!!

バキバキ

しおりちゃんの
すごくキツイ...

キュッ

グググ



うん...少し痛いけど...
頑張る...
いいよ...動いて

痛ッ...ひい

大丈夫?
しおりちゃん

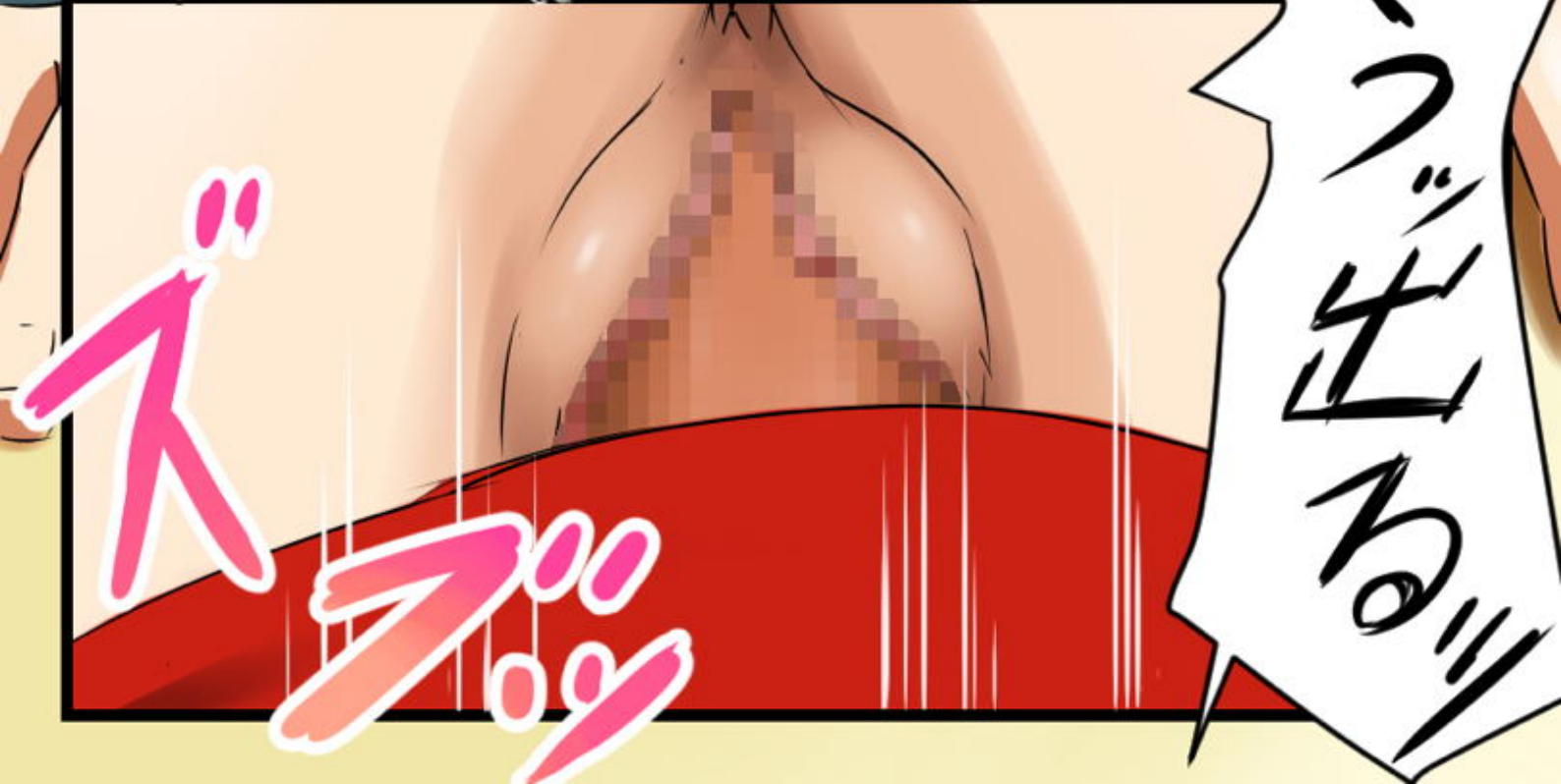
グググ

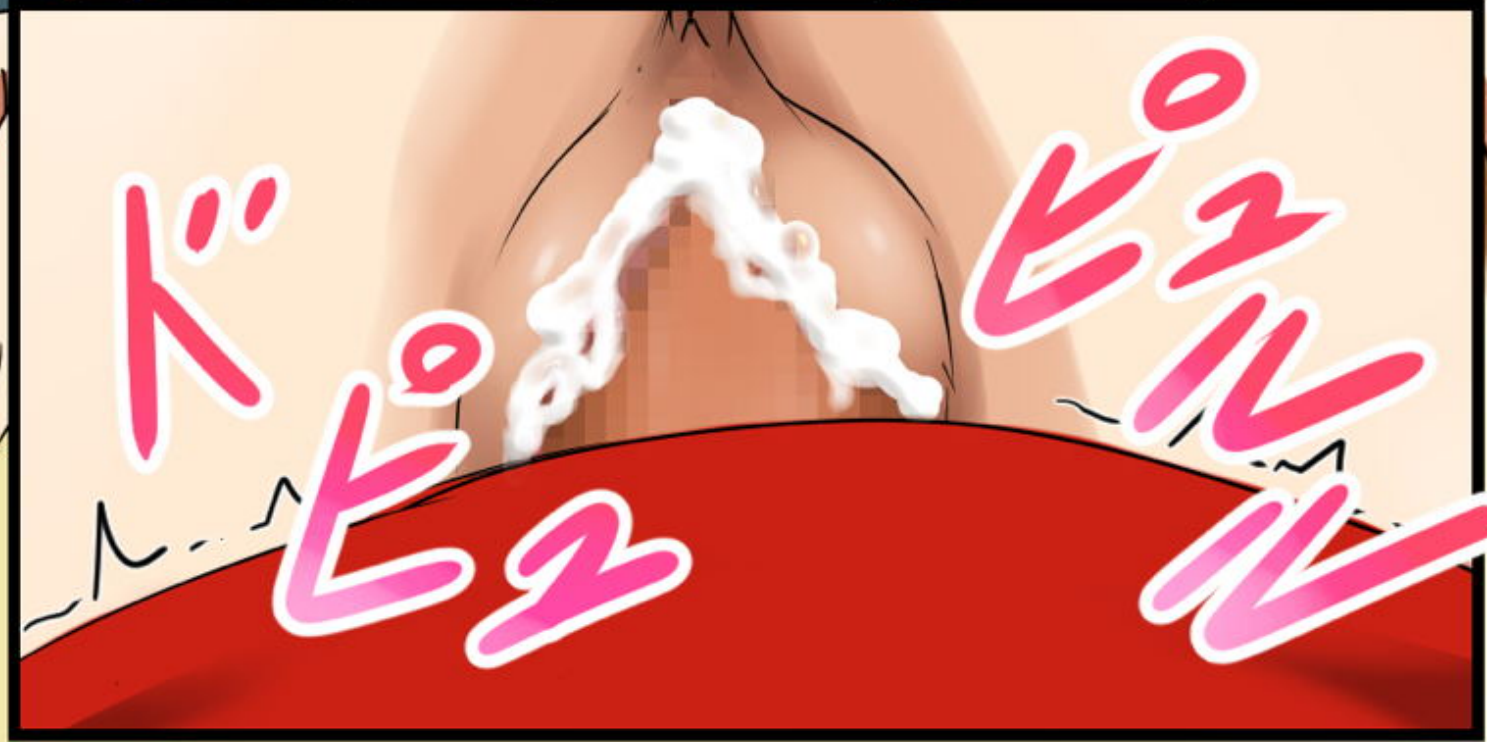
ビクッ

ギガ











はあ...はあ...
すごく気持ちよかったよ
しおりちゃん...

はあ

はあ

ビクッ

はあ
ビクッ



「ひっく……ひっく……痛い痛いよお……ひっく」

しおりちゃんの身体から紫色の煙が抜けていくと同時に
マイちゃんの身体からも抜けていった。

「あれ？ あたし今まで何やって……あつ！

しおりちゃん、どうしたの泣いて」

(……妖怪に憑りつかれてたの忘れてたっ！)

「ちよっと、アンタなんてことしてくれたの」

マイちゃんが向かってくる。

「こ……こんなときは、そうだ俺のともだち、忘れん坊！」

「はあはあ……一時はどうなることかと思ったよ」

「どうしました？ 随分と焦っているようですが

わたくしがいない間に事件でも」

ソフトクリームのような妖怪執事が声を掛けてくる。
お化けのような妖怪執事が声を掛けてくる。

「えっと……全然、事件なんて何も起きてないよっ！

全然ふつーだよっ！」

忘れ物をとりに戻ると、教室で誰かが苦しんでいる声が聞こえる。

開けっ放しの扉から覗き込むとミカちゃんが股間を机に押し付けているところだった。

（うわ……ミカちゃんがオナニーしてる。）

扉も開けっ放しで不用心にもほどが……

これってもしかして……）



んっ...んんっ...
は...あッ...
きもち...んッ
いよいよお

あ

んっ

あ

あ

あ

あ

あ

くちゅ

くちゅ

んッ…机の角が
アソコの突起部分に
当たって…んあッあッ…

あッ

あッ

あッ

ムニ

ムニ

うわあ…
ワレメが食い込んでるよ

くちゅ

くちゅ





はあ
はあ

はあ
はあ

はあ
はあ

はあ
はあ

ガタッ

しまった!?!
夢中になって教室に入ってた
俺まで不用心に……まずい

「ずっと見てたり？マジ？」

「覗くつもりは無かったんだけど……」

「扉が開いてて、たまたま……」

「そっか……な、なあ……アタシ身体の火照りが治まらないんだ」

「み……ミカちゃん、当たってるよ」

「やっぱ、アタシみたいな男女じゃ、その気にならないか……」

「そんなことないよ、ほら」

「あ……あたしのに硬いのが、アタシなんかで興奮してくれてるんだ……」





あッ♡

わっわっ...入ってるんッ...アタシの中にッ

あッ

あッ♡

んッ♡

ミカちゃんのすぐく締めつけてくる

ゴゴ

ゴボ









「あれ？ アタシどうして裸で……
え？ え？ 股間に何か入って、あ痛っすげーいてえ」
「はあ、はあ、よかったあって、またやってしまったっ
俺のともだち忘れん坊！」

「なるほど、そういうことでしたか」

教室を出るとソフクリームヘアーの妖怪執事が
傍らに現れていた。

「うわっ急に現れないでよ！」

「いえいえ、いいんです事情は察しました。

ええ、ええ、妖怪の仕業ですね。互いに顔を見合わせる
のも気まずいでしょうし、二人ともきっぱり忘れて

しまう方がいいでしょう、はい。

ささ、ご主人も忘れん坊をつて、あるええええええ

なぜゆえ、わたくしの高貴な頭にいいい」

ふいふい
しゅしゅ

どくどく
どくどく

怪奇現象が起こるといふ噂のジムにオカルト研究会の
「員として呼ばれてしまった。この階だけ人が誰もいない……」
「おかしいわね、この階だけながら前田さんが眩く。」

「くくく、なにやら怪しいねえ……探索してみようよ」
口元に笑を浮かばせながら、眼鏡の酒井さんが

前田さんの眩きに応える。

「妖怪は沢山いるのですけどもね。みなさん肉体改造に
励んでいらっしやいますねえ。いい機会ですから、わた

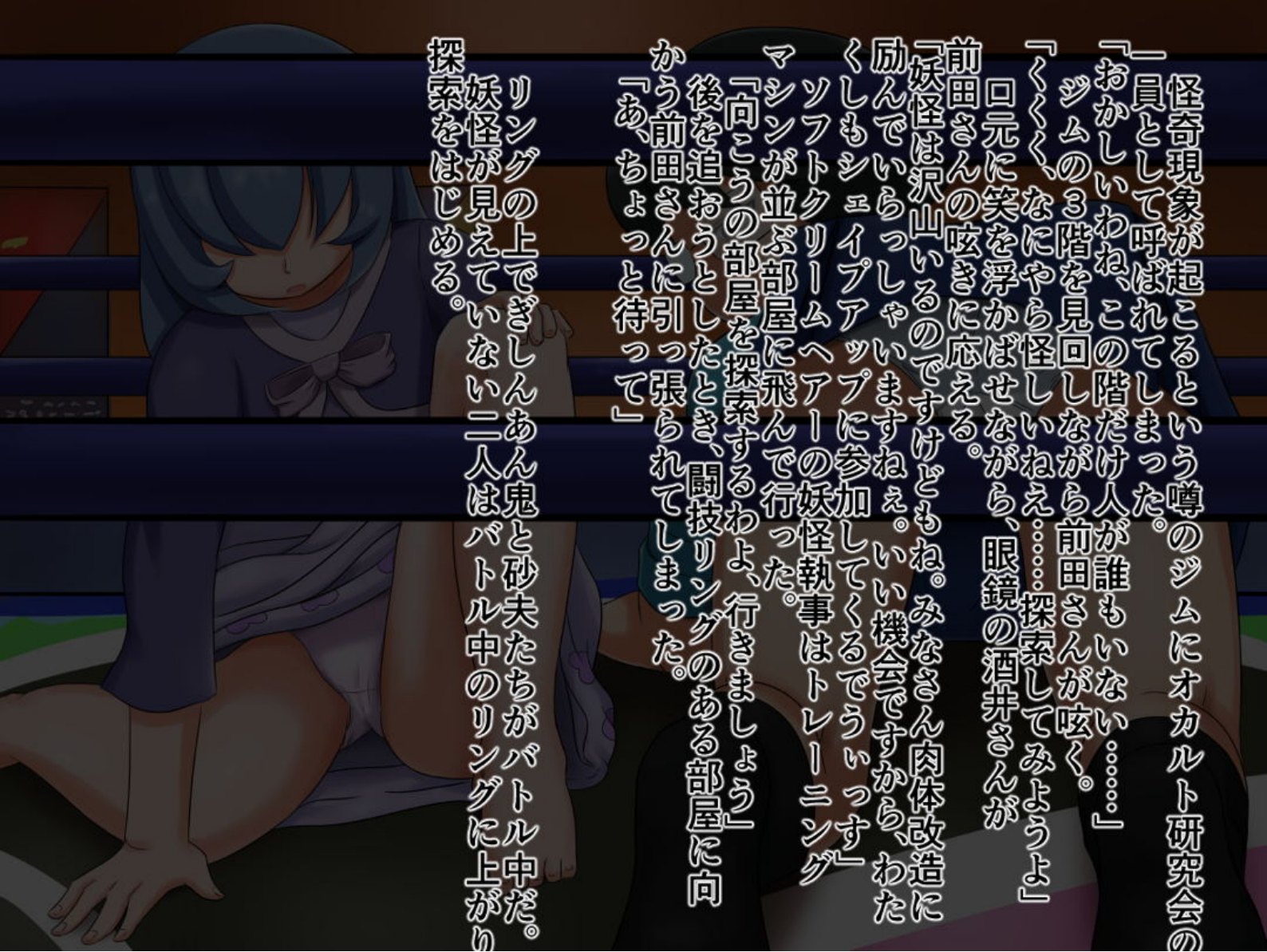
くしもシェイプアップに参加してくるでういっす」
ソフトクリームヘアーの妖怪執事はトレーニング

マシンが並ぶ部屋に飛んで行った。

「向こうの部屋を探索するわよ、行きましよう」
後を追おうとしたとき、闘技リングのある部屋に向

かう前田さんに引張られてしまった。
「あ、ちよっと待って」

リングの上でぎしんあん鬼と砂夫たちがバトル中だ。
妖怪が見えていない二人はバトル中のリングに上がり
探索をはじめめる。





ヤラシイ目で
どこ見てんのさ…
ちやんと調査して
るんだらうね





どうしたの？

いやね…さっきから
スカートの中に
視線を感じるからさ

え？全然！
全然見てないから！

本当かなあ…
疑わしいねえ…
ならちよつと
こっち来てくれる？

今はちよつと…
(やばい、勃起してるのが
バレちゃうよ)

なに前かがみに
なってるのさ…
やっぱ私たちの
スカートの中
覗いてたんじゃないかねえ…
疑わしいからね
いいから上がってきなよ





男の匂いが
ムンムンするねえ…
私そうなのよ…
キツイんだよね…

あら本当
何だか匂うわね
ふふ…

疑わしいねえ…

き…気のせいだよ！
(これ以上近づかれると
我慢汁の匂いが)



見たいなら
下着くらいなら
見せてあげても
いいのに

くくく…大胆だね
じゃあ…私も…

二人とも何を
ちよつと…

ススス

キラッ

全然っ全然っHな目で
見てないから

ズボン膨れてない？
やっぱ興奮して
たんでしょ？

疑わしいね…
なら脱いで
見せてごらんよ

こ…これは
ズボンのシワが
盛り上がってる
だけだよ

あらいいわね
私も興味があるわ
男子のちんちん
見てみたい

ちんちん
見たいって
前田さん直球すぎっ
やっぱ憑りついて…

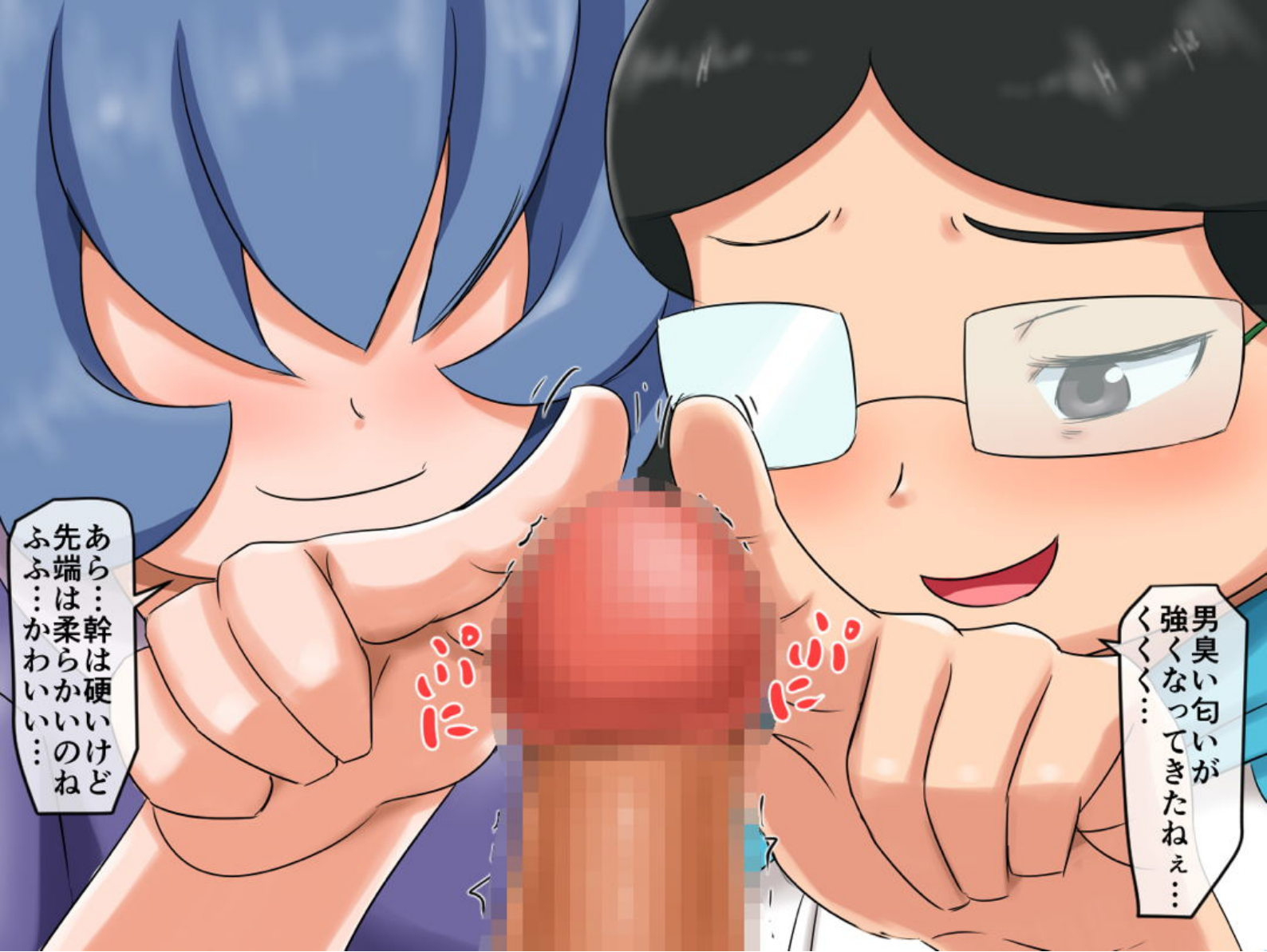


まあ…

こんなに
ギンギンに勃起させてる
くせに興奮してないなんて
よく言えたもんだねえ…

私触ってみたいわ
ねえ…触っても
いいかしら？

うう…
仕方ないっ



あら：幹は硬いけど
先端は柔らかいのね
ふふ：かわいい：

男臭い匂いが
強くなってきたねえ：
くくく：



ヤダ：私も
興奮してきちゃった
私：前からフェラチオに
興味があったのわ
ねえ：舐めたいわ
いいでしょ？

先っぽから
臭いのが垂れてきたね
私たちが触れられて
感じてるのかいい
くくく…





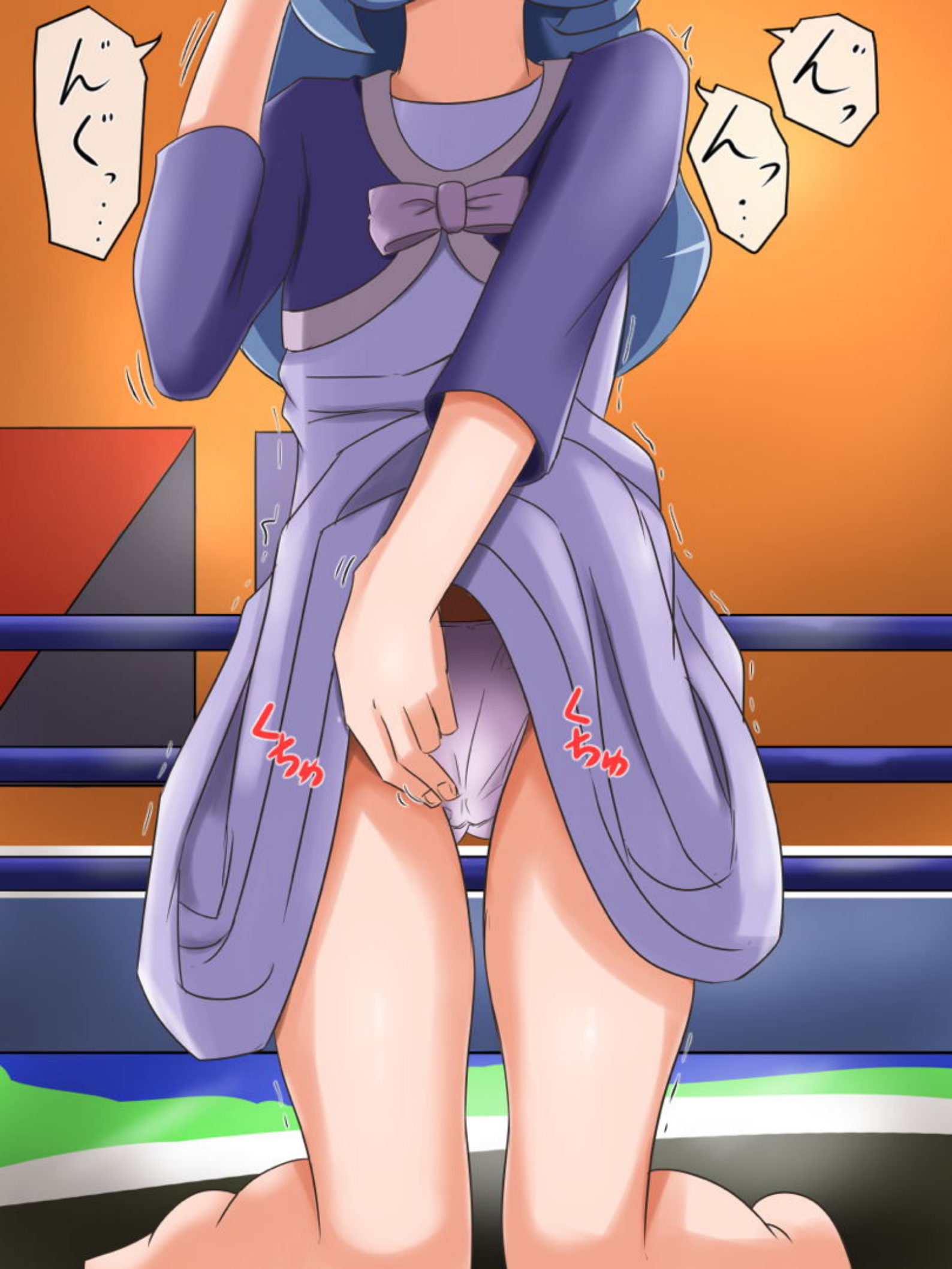


ど
い
い
い
い

クワッ

ん
!?

ん
ん
ん
ぐ



んぐっ…

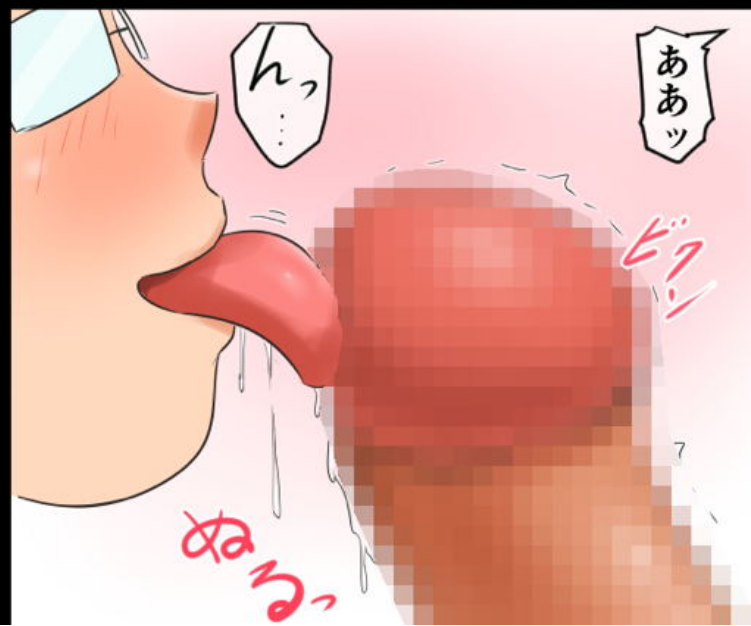
んっ
んっ…

うっ…あッ…
出る…!

しゅわ

しゅわ







ぐ？
...

んん？
...

はむっ

カポッ







前田さんの
あんなに濡れて…

はあ…はあ
アソコが熱くて…んッ
我慢できないの…その硬くて
熱いおちんちんを
この熱くて火照った穴に
入れてえ…はあ…はあ

はあ
はあ

はあ
はあ





あぁ

あぁ

早く来てえ...

ん...

ワキッ

ワキッ

んっんっ

ゴッ：んっキノコの傘が
私の中にグリグリ進んでッ
ひゃ：アッ：
ゴリゴリ擦りながら

ああ

ああ



うあっ積極的
腰を押し付けてきて
前田さんって
こんなHな子
だったんだ

ズグッ





ああッ...ああッ
ああッ

ああッ
ああッ

うあ...
出る...!!

ピクッ

ピクッ

ドブッ

ドビュ

ピクッ

私も我慢できなくなっちゃったよ

くくくく…
ケダモノくんなら
まだイケるでしょ…

スツ

スツ

うう…
もう限界…



はあ
あ

はあ
あ

はんツツ…く…
はッアッ…ん
やっぱり
ケダモノくんだ

もう…こんな
私の中で元気に
なっちゃってさ…
子宮口に
当たってるよ
んツツ…

グ
グ

グ
グ

うあ…酒井さん
すごい締めつけ
くう…

ギョウ



あッ!

あッ!

じゅん!



あ
あ
あ

あ
あ
あ

あ

ズン!ズン!

ズン!



んっ!!
んっ!!
んっ!!

あうッ...!!
おくうッ!!

んぐ!!

ぐちゃゅ ぐちゃゅ



あ♡♡
あ♡
あ♡

あ♡♡♡♡

でびゅびゅ!!



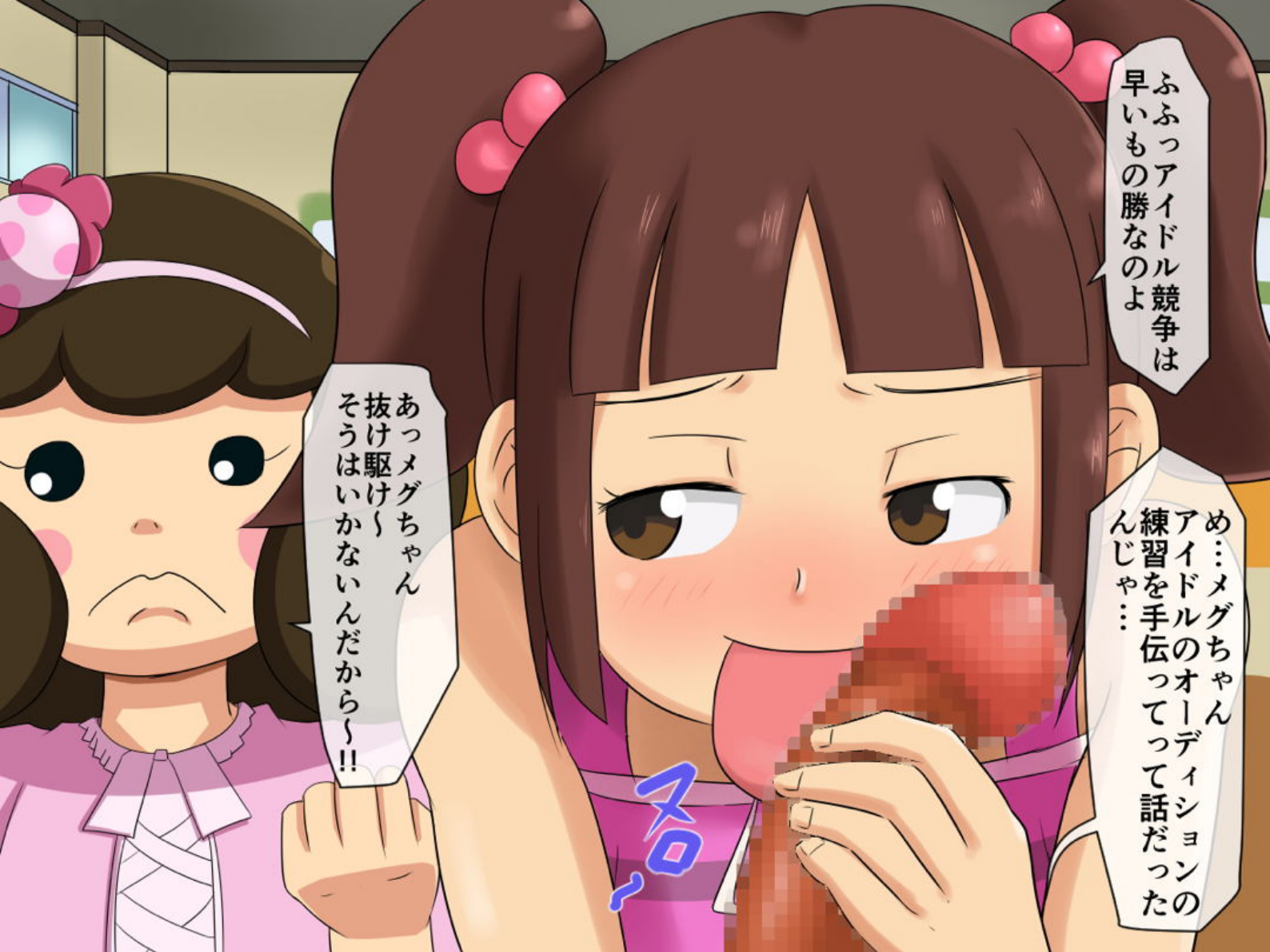


「はあ、はあ、妖怪の仕業とはいえ雰囲気に吞まれてしまった……ふう。こんなときは俺の友達忘らん坊！」

「また……やってしまわれたのですね……。」
「うあ！いきなりビックリさせないでよ！」

「あんさん、雰囲気に吞まれたとか言いつつ、楽しんでや
ってませんか？」

「ははは、ぜ、全然そんなことないよ、よ。あくまでも妖怪
の仕業だよ！」



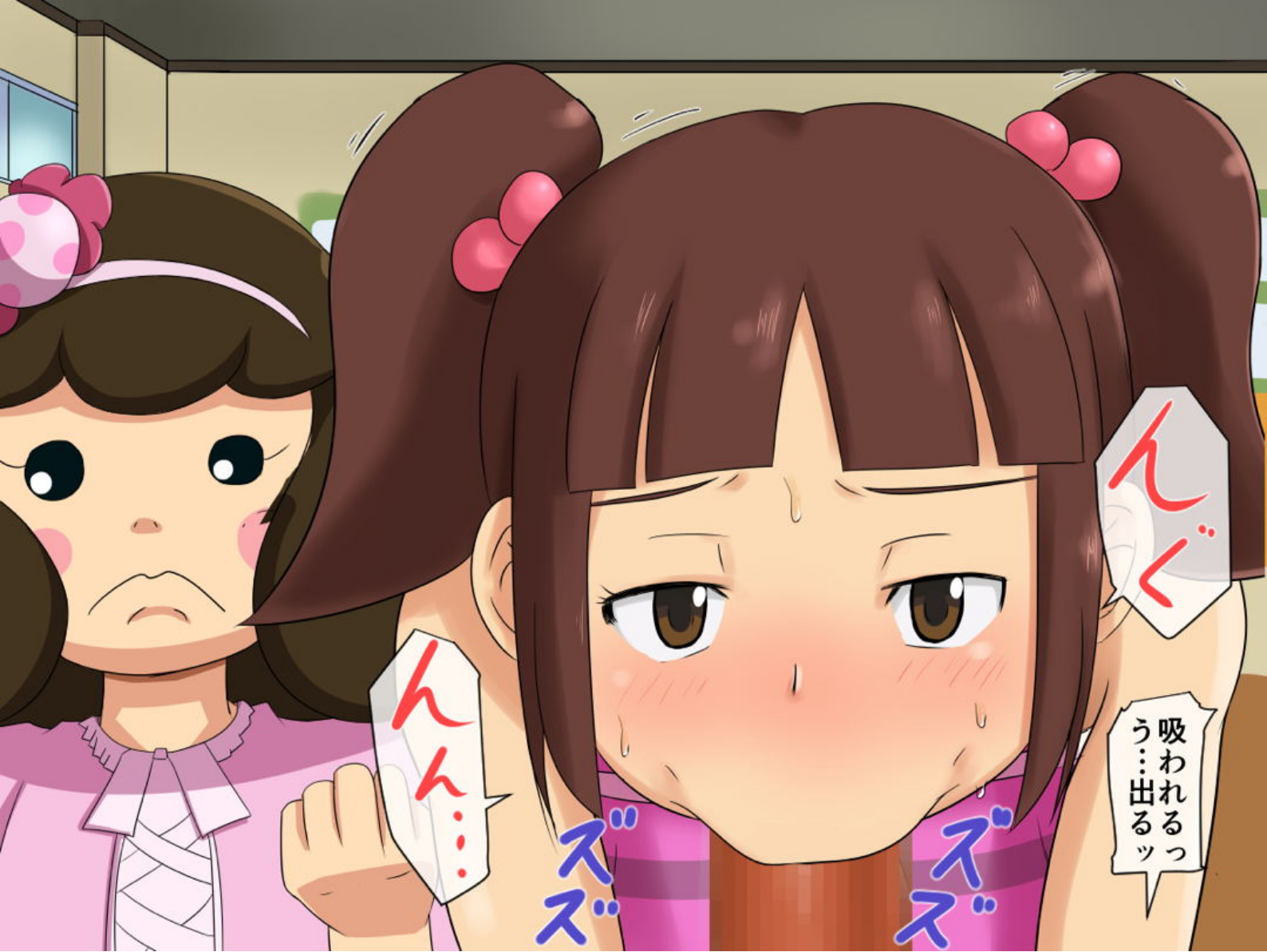
ふふっアイドル競争は
早いもの勝なのよ

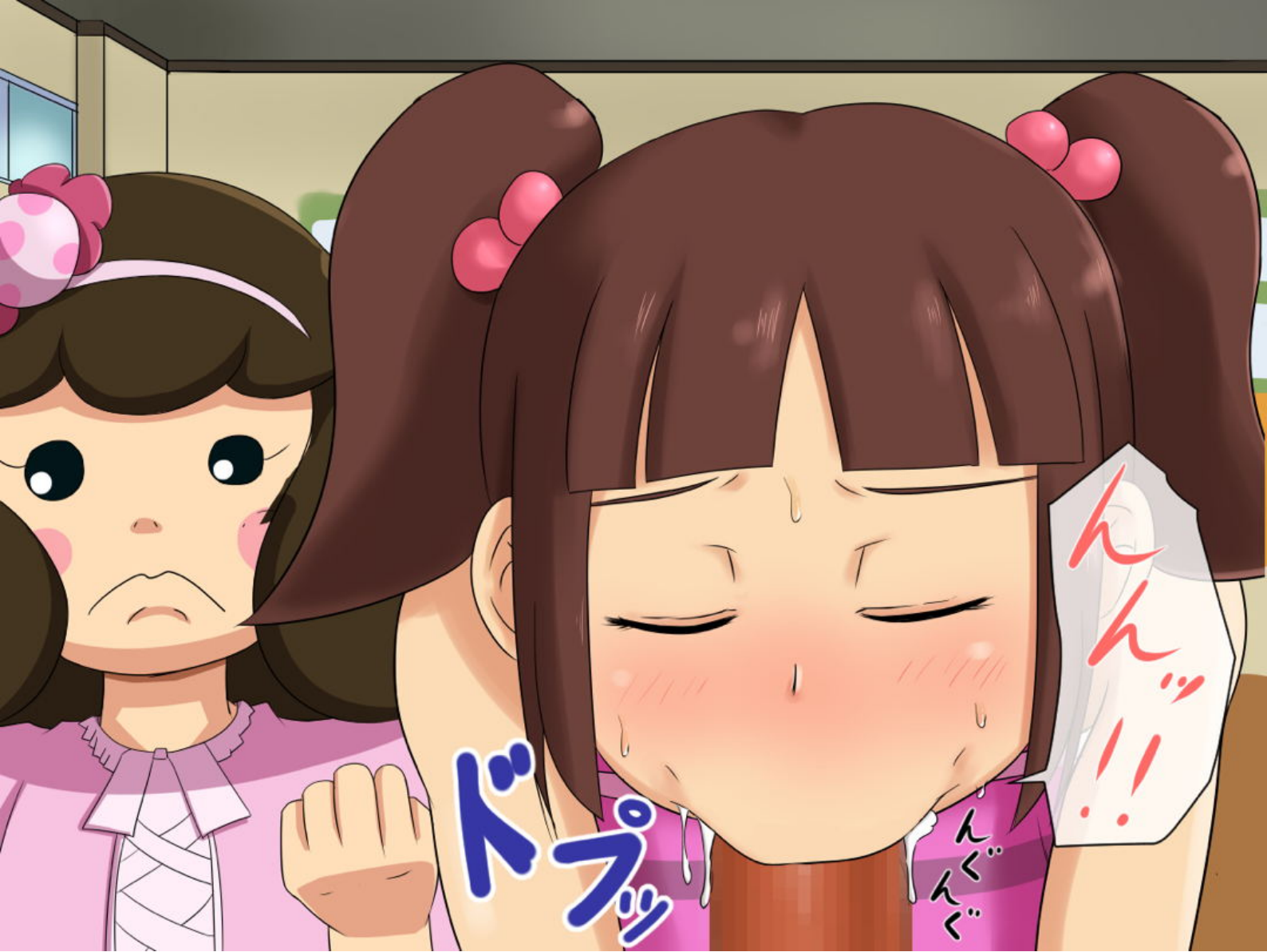
め：メグちゃん
アイドルのオーデイションの
練習を手伝ってって話だった
んじゃ：

あつメグちゃん
抜け駆け
そうはいかないんだから！！

ス
ッ







次はアイたんの
番だからね〜!

どう〜アイたんの
素股のほうか
メグちゃんのフェラ
より気持ちいいでしょ〜

ぐ
ぐ
に
に



んっ♡

あっ♡

はっ♡

んっ…んっ
アイたんの中いっぱいに
おちんちん入ってるよ

あ…アイたんは
本番だつてさせて
あげるんだから

んっ…んっいよ
アイたんの中いよ
イッつてはうッ!!

グ
キョ

グ
キョ

うあつ
根元まで…
先端が壁に
当たって
すぐイキ
そうだ…





はあ

はあ

わ：私だって
セックスさせて
あげるんだから

う：うん…
アイちゃんのなんかに
負けないから入れていいよ

メグちゃん!!
いいの!!



あッ!!

あッ!!

あッ!! あッ!!

あッ!!

ズーン!!

ズーン!!

ズーン!!

グッ グッ



あーあーあー

あー!!
あー!!

出てるッ!?
熱いの出てるッ!!

ビクッ!

ビクッ!

ドクッ!

ドビュッ!!





「よし！俺のともだち忘れん坊！」
俺がともだち妖怪を召喚しようとして
ポーズを決めたとき背後から声が聞こえた。
「あんさん、手慣れてきてませんか？」

えーふみちゃんを
かばうのー

ふみちゃん
ばっかり私もー

思わぬことで、サトコちゃんと
チヨちゃんが俺を横取りし合う
ことになった……

ねえ：こういうの
好きかな
私のもものになったら
もっと見せてあげるよ！

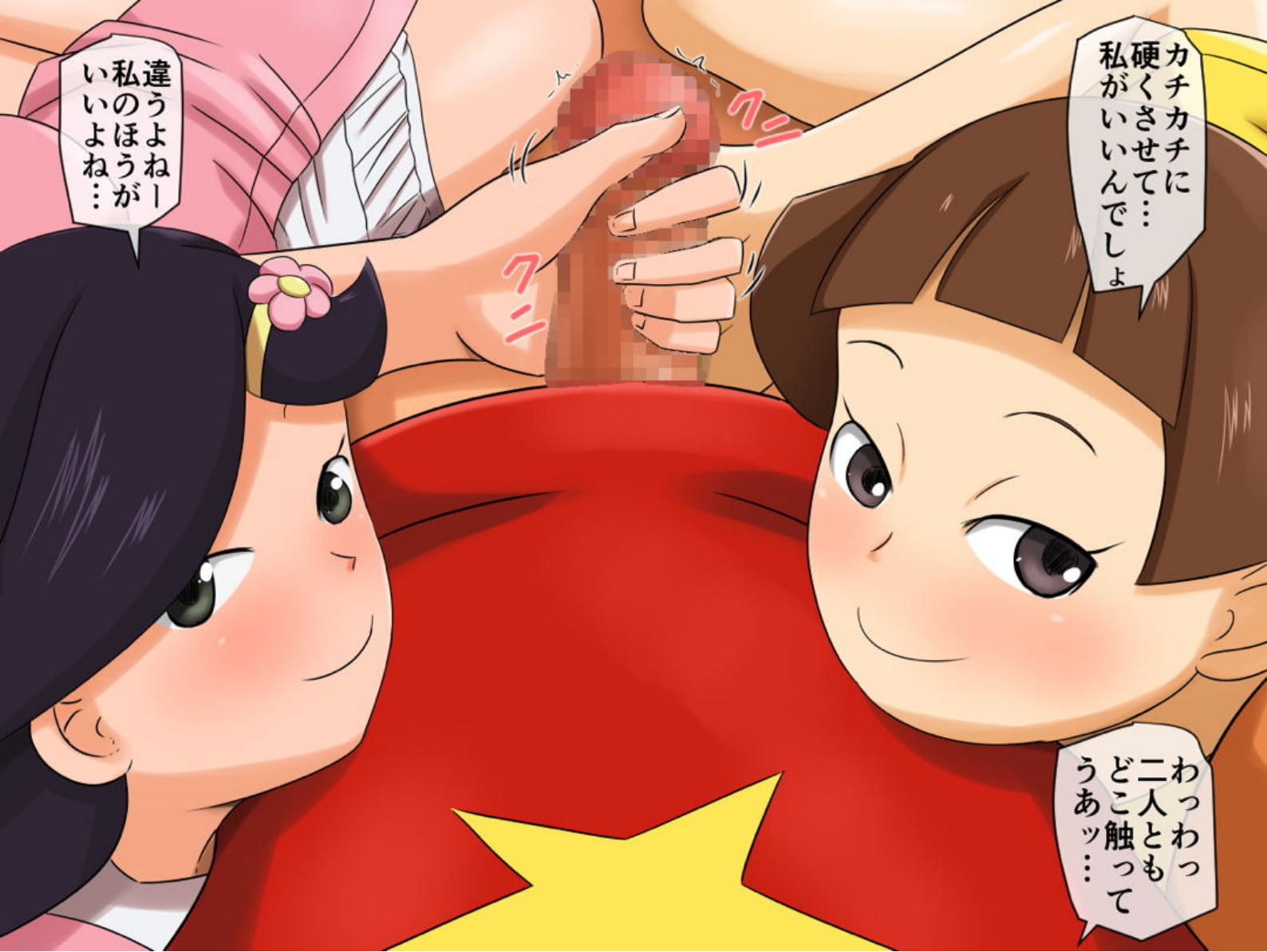


あー!!
そういうことするんだ
なら私も…

スス…

サトコちゃん
とチヨちゃんの
ほうばかり見て……もう
私は上も見せちゃうんだから





違うよねー
私のほうが
いいよね…

カチカチに
硬くさせて…
私がいいんでしょ

わっわっ
二人とも
どこ触って
うあッ…

クニ

クニ

クニ

あつ…ふみちゃん
それ反則ッ

私が大き
したのに

ん
ん
ん
ん
ん

ふ…ふみ
ちゃん
ッ

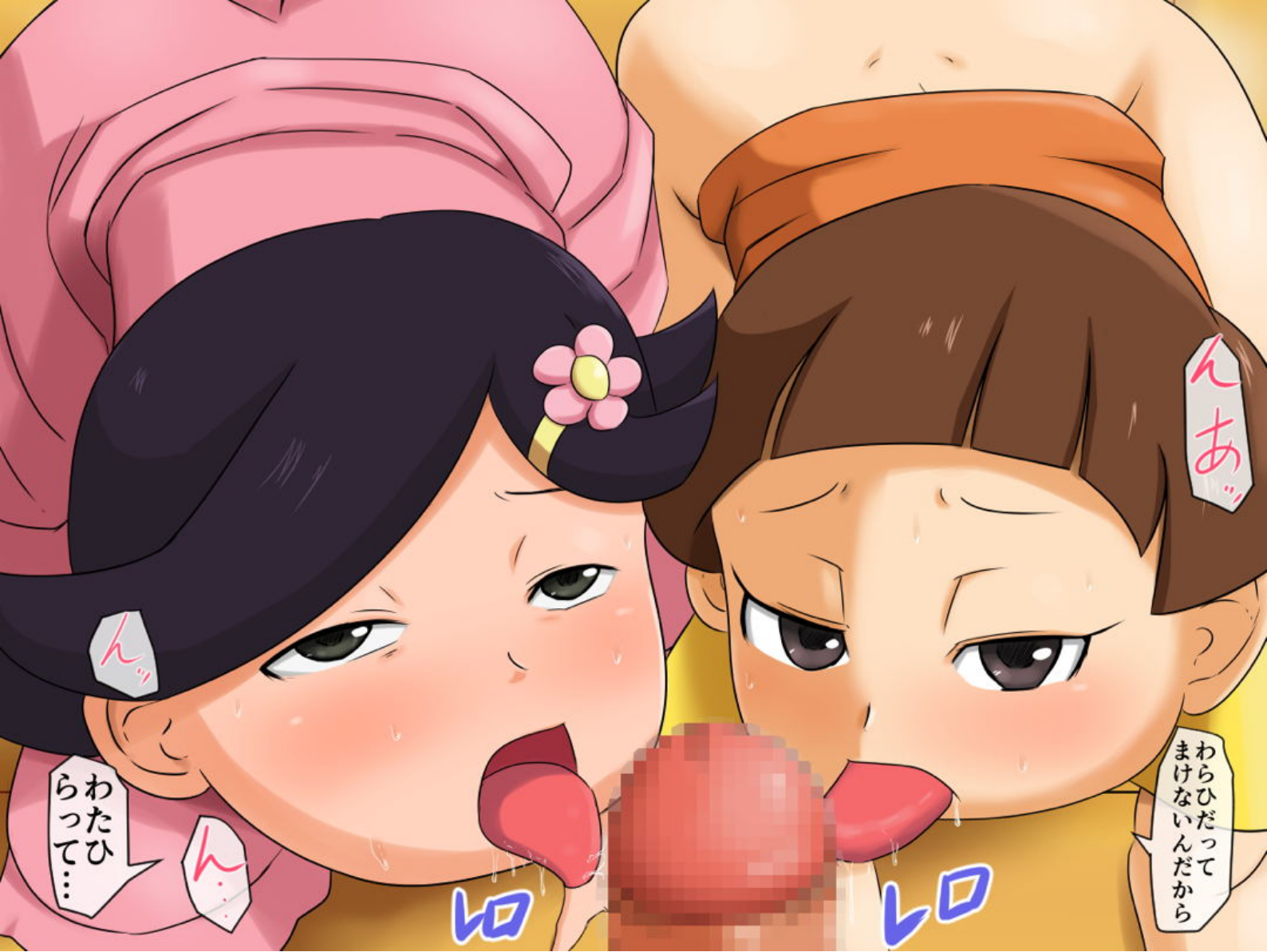
カ
ポッ











わたり
らつて
...

わらひだつて
まけないんだから

LO

LO





んッ：
たくさん
出たあ

ん：
変な味い



精液飲んだら
我慢できなく
なっちゃった…
ねえ…
最後までお願い…

サトコちゃん
ずるーい!

い…いの!!
俺もサトコちゃんに
入れたくて!!



...うん
いいよ...

もうこんなに
ガチガチになっ
てたんだい...
いくよ!!

ビッ

ビッ



うあっ…
いっ…イクッ

あ
あ
あ

私も…私もお…
イクッ
イッちやうッ…!!

ド
ビ
ュ
ド
ビ
ュ

ビクッ

ビクッ







ねえねえ

チヨちゃんまで
もちろんだよ

まだやれるでしょ
私にもおちんちん
ちよーだっしょ!!



俺のをズッポリ
啜え込んで
チョちゃん の
すごくいいよ!

あんっ

あんっ

あんっ

あんっ

あんっ
お腹の奥に
当たってるう

ズブ
ジュー



ヤッ♡♡

出てる♡

ビクッ

あ♡

あ♡♡♡

ビクッ

出てるううッ♡

くう〜中にッ
だっ…出すよッ

ドクッ
ドクッ



はあ

はあ

H気持ちいい
よお

ピクッ

はあ

はあ

ピクッ

はあ...はあ
最高だったよ
チヨちゃん...

ドォ

ドォ



ねえ私にも
セックスして〜

ああ

ああ

早く私にも
挿れてえ

ああ

ああ

フミちゃん
とHが
できる
なんて



んっ！
激しいッ！
子宮まで届いて
あっ…ひッあッ！！

すごいっ
感じるう…
きもちいいッ♡

あ♡

あ♡

あうッ

す…

ん♡

はあ…はあ
フミちゃん

フミちゃんの中
ウネウネして
締めつけてくる

ぐ
ぢゅ

ぐぢゅ

ほ
ぢゅ



あゝん♡
あゝん♡
んん♡
んん♡

あゝん♡
あゝん♡
くる♡

ドビュ

ドビュ!

ドビュ!

ドビュ

くっ出る!!
出すよ
フミちゃん...ツ!!





やだあ：あそこから
白い液体が溢れてる

あれ：私なにやって…
え…？どうして
裸なの…え？え？

なにこの
ネバネバしたの

ああ

ああ

ああ



はっ!しまった!
また妖怪に流されて
よーし!俺のともだち
忘れん坊!

よーし!って
忘れん坊便利すぎっしょお
てかあーた流された言いながら
ノリノリでやってるっしょッ!

そんなことはないさ
これもすべて
妖怪の仕業さっ!